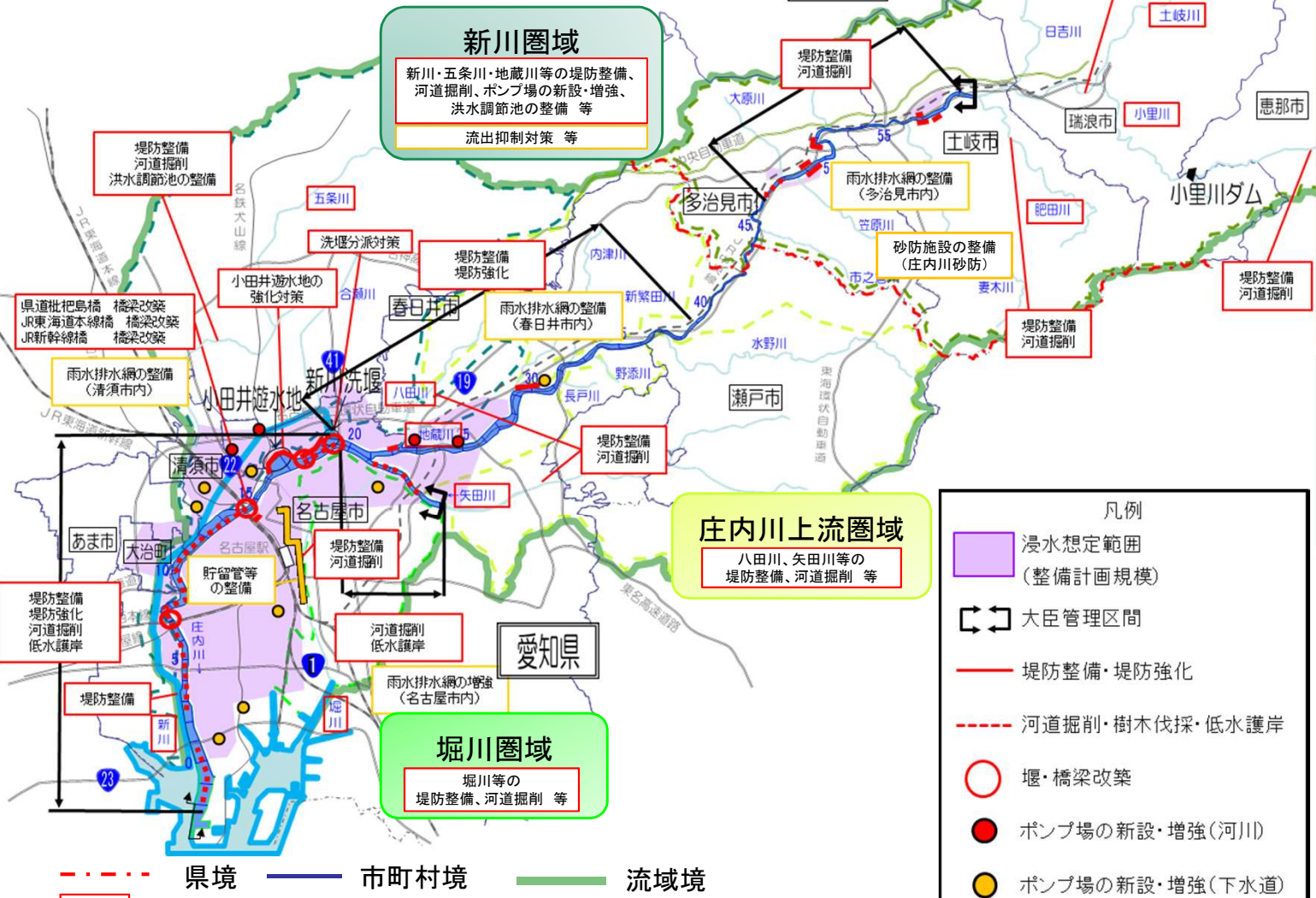


○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄内川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施し、国管理区間においては、観測史上最大となった平成12年9月洪水（東海豪雨）および平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



■河川における対策
 対策内容 堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等

■流域における対策

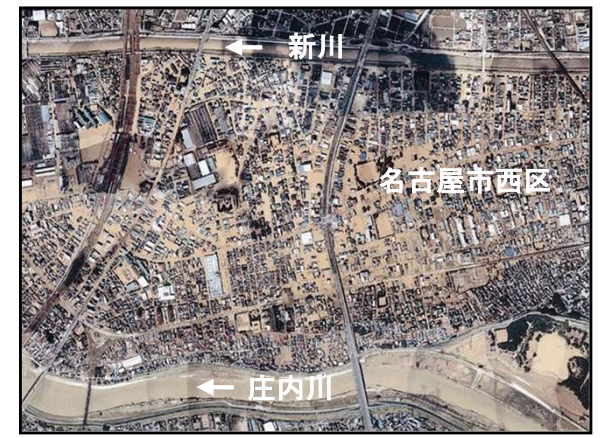
- ・流出抑制対策
 （既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、土岐川防災ダム一部事務組合など）、貯留管等の整備 等）
- ・土砂災害対策
 （砂防施設の整備 等）
- ・内水被害軽減対策
 （雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強等）
- ・早期復旧に備えた対策
 （防災拠点の整備、緊急河川敷道路の整備 等）
- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組を検討
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策

- ・被害軽減対策
 （避難場所や経路に関する情報の周知、住民の防災意識向上のための取組 等）
- ・ソフト対策のための整備
 （危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 等）
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

凡例

- 浸水想定範囲（整備計画規模）
- 大臣管理区間
- 堤防整備・堤防強化
- 河道掘削・樹木伐採・低水護岸
- 堰・橋梁改築
- ポンプ場の新設・増強（河川）
- ポンプ場の新設・増強（下水道）



東海豪雨(H12.9時)の名古屋市西区、清須市(旧西枇杷島町)の状況

※ **〇〇川** は、県・政令市管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。